

## 基本政策Ⅵ

## 家庭・地域の教育力を高める

### 現状と課題

- ・核家族化の定着や地域社会の変化により、親子の育ちを支える人間関係が弱まっている中で、家庭教育について地域全体で考え、支えあっていく基盤づくりが必要となっています。
- ・市民館やPTA等が開催している家庭教育を支援するさまざまな取組に参加できない家庭や、家庭教育を十分に行う余裕がない家庭もあり、それらの家庭に対する支援が求められています。
- ・子どもたちが地域で安心・安全に育つことができるよう、子どもと地域のつながりをつくっていく必要があります。学校・家庭・地域の連携を推進し、地域の教育力の向上を図る自主的な活動組織として設置されている地域教育会議について、さらなる活性化に向けて支援を充実させていく必要があります。
- ・地域ぐるみで子どもたちの学習や体験をサポートし、多世代で学ぶ生涯学習の拠点をつくる「地域の寺子屋事業」の取組をさらに拡充させていくことが求められています。

### 政策目標

各家庭における教育の支援や、大人も子どもも学び合い、育ち合うための環境づくりを通じて、家庭・地域の教育力の向上を図ります。

### 主な取組成果

市民館等において家庭・地域教育学級等、家庭教育に関する学習機会を提供するとともに、PTAによる家庭教育学級の開催を支援し、家庭の教育力の向上を図りました。また、従来の方法では家庭教育学級に参加できなかった人々への支援となるよう、企業等と連携した事業を実施しました。

地域教育会議においては、コミュニティ・スクールの拡充と合わせて国が打ち出している「地域学校協働本部」を本市でどう構築していくか、今後の地域教育会議のあり方を作業部会や代表者会議、全市交流会などを通して議論してきました。

市内16か所のスイミングスクールと連携し、泳げない子どもを対象とした水泳教室を開催し、子どもの泳力向上を図りました。

地域や学校の実情に応じて寺子屋を55校に拡充するとともに、翌年度以降の更なる開講に向けて、寺子屋先生養成講座を8講座、寺子屋コーディネーター養成講座を2講座開催しました。さらに外国につながる子どもの学習支援を行う寺子屋先生の養成講座を開催するなど、地域の寺子屋分教室の設置に向けた取組を進めました。

### 参考指標

※ 基本政策の目標の達成度を評価する際に参考とするための数値であり、この数値のみをもって基本政策の成果とするものではありません。基本政策の評価は、事業の進捗状況等を踏まえて総合的にを行います。

指標名	実績値	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	目標値 R3 (2021)
家庭教育関連事業の参加者数	23,253人 (H28(2016))	25,267人	23,093人			23,500人以上
教育文化会館・市民館・分館で実施する家庭・地域教育学級、PTA等の企画する家庭教育学級、その他家庭教育事業の参加者数【出典：教育文化会館・市民館活動報告書】						
家庭教育関連事業を通じて悩みや不安が解消・軽減した割合	92.4% (H28(2016))	92.4%	93.9%			92.5%以上
教育文化会館・市民館・分館で実施する家庭・地域教育学級、PTA等の企画する家庭教育学級、その他家庭教育関連事業で悩みや不安が解消・軽減した人の割合【出典：家庭教育事業参加者アンケート】						

指標名	実績値	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	目標値 R3(2021)
P T A ・ 企業等多様な主体と連携して実施した家庭教育関連事業数	172回 (H 2 8 (2016) )	180回	182回			175回以上
P T A ・ 企業 ・ 子育て関連部署等と連携して実施した家庭教育事業の開催数【出典：川崎市教育委員会事務局調べ】						
地域教育会議における参加者の意識の変化	88. 8% (H 2 8 (2016) )	83.8%	93.9%			92.0%以上
地域教育会議が開催する「教育を語るつどい」等の事業において、「子どもや地域のことを考えるきっかけとなった」と答えた参加者の割合【出典：川崎市教育委員会事務局調べ】						
地域の寺子屋事業を通じて生まれた地域と子どもとのつながり	88. 6% (H 2 8 (2016) )	88.9%	87.1%			92.0%以上
親や教師以外の地域の大人と知り合うことができた児童の割合【出典：地域の寺子屋事業参加者アンケート】						

### 主な課題

家庭や子ども達を取り巻く社会環境の変化が激しい現代社会において、家庭が子育てにおいて抱える悩みや、教育や地域に関する課題は多様化しているため、引き続き、家庭教育の推進に取り組んでいく必要があります。

地域教育会議については、国の方向性を受けて、川崎らしい地域教育ネットワークの今後のあり方について、引き続き、検討する必要があります。

地域ぐるみで子どもの学習や体験をサポートし、多世代で学ぶ生涯学習の拠点となるよう、全ての小中学校への寺子屋の設置が求められています。

泳げない子どもの泳力向上について、引き続き、地域のスイミングスクール等との連携を進めていくことが求められています。

### 教育改革推進会議における意見内容

学校や家庭、地域の役割分担が必要。教育は学校のみで行うことはできないため、家庭や地域と協力して何ができるか考える必要がある。何を家庭で学び何を学校で学ぶかを明確にしなければ全て学校で行わなければならない。学校教育での内容を整理することが教育力を高めることにつながる。

地域教育会議をはじめ、学校を拠点とした地域人材を活用した様々な取組の推進が今後重要となる一方で、地域の方々との連携に際して、教員の勤務時間外の会議等を求められることが多いので、教職員の働き方改革の視点から課題がある。

川崎市の子ども・住民にとって、これまで川崎市が取り組んできた地域教育会議とコミュニティ・スクールのそれぞれがどのような良さを持つのか検証を進めてほしい。

## 今後の取組の方向性

家庭教育の推進について、引き続き各事業を確実に推進していくことで、地域での多世代の交流を推進し、家庭教育の悩みを軽減していく取組を進めていきます。

地域教育会議の川崎らしい地域教育ネットワークの今後のあり方を検討するとともに、令和2年度からモデル的に数か所の地域教育会議に国が示す地域学校協働活動推進員を配置し、「地域学校協働本部」として機能させていきます。

地域教育会議では、モデル校に地域教育コーディネーターを配置することによって、事務局的な作業を教職員以外が担えるようにし、モデル校以外でも、教職員の参加の仕方について改善に向けた取組を推進していきます。

地域と学校が連携して子ども達の成長を支えてきた地域教育会議と、地域住民や保護者が学校運営に参画し、地域に根ざした学習を充実してきたコミュニティ・スクールを一体的に推進していくことで、より効果的な組織の在り方となるよう検証を進めていきます。

寺子屋の拡充に向けて、引き続き事業を推進するとともに、寺子屋の運営を担う人材や団体の発掘・育成及び広報活動などを推進していきます。

学校及び教師が担うべき業務を明確にして子ども達に向き合い専念する時間を確保し、地域や家庭が協力して登下校や放課後の子ども達の見守り活動を行うなど、地域社会で担える取り組みを広げていくことによって、子ども達の学習・生活環境の充実を図っていきます。また、子育てをめぐる幅広い観点から主体的に学ぶ場として、家庭・地域教育学級等を実施することで、地域や家庭の教育力の向上を目指すとともに、子どもたちが地域の中で健やかに成長できるよう、地域のつながりづくりを推進します。

泳げない子どもの泳力向上について引き続き、地域のスイミングスクール等との連携を進め、泳げない子どもを対象とした水泳教室の実施に取り組みます。

<b>施策1</b>	<b>家庭教育支援の充実</b>			
<b>概要</b>	近年の社会環境の変化に伴って家庭環境の多様性が見られることから、関係部局や団体、企業等と連携しながら、従来の方法では家庭教育学級に参加できなかった人々への支援を行うなど、家庭教育の推進に取り組み、家庭の教育力の向上を図っていきます。			
<b>事務事業名</b>	家庭教育支援事業			
<b>担当課</b>	生涯学習推進課	関係課		
<b>事業の概要</b>	子育て期の市民を地域全体で支え合う家庭教育環境を構築します。			
	<b>H30 (2018)</b>	<b>R1 (2019)</b>	<b>R2 (2020)</b>	<b>R3 (2021)</b>
<b>事業計画</b>	市民館等における家庭・地域教育学級等家庭教育に関する学習機会の提供 ・家庭・地域教育学級等事業の実施			
	P T Aによる家庭教育学級開催の支援 ・開催数：163校以上			
	全市・各区「家庭教育推進連絡会」の開催による情報共有の推進 ・全市・各区における「家庭教育推進連絡会」の開催			
	企業等と連携した事業実施及び福祉部門と連携した情報提供など家庭教育支援の推進 ・継続実施			
	<b>実施状況</b>			
	<p>①市民館等において家庭・地域教育学級等、家庭教育に関する学習機会を提供しました。</p> <p>②P T Aによる家庭教育学級の163校での開催を支援しました。</p> <p>③「家庭教育推進連絡会」を全市で1回、3区でそれぞれ2回、4区でそれぞれ1回実施しました。</p> <p>④企業等と連携した事業を1回実施しました。</p>			
	<b>課題と今後の取組</b>			
	<p>①今後も市民館等における、家庭教育に関する学習機会の提供に取り組んでいきます。</p> <p>②引き続き、P T Aによる家庭教育学級開催の支援に取り組んでいきます。</p> <p>③「家庭教育推進連絡会」を通じた情報共有の推進に取り組んでいきます。</p> <p>④企業等と連携した事業実施及び福祉部門と連携した情報提供など、家庭教育支援の推進に取り組んでいきます。</p>			

施策2 地域における教育活動の推進																					
概要	地域教育会議の活性化や、地域の寺子屋事業の推進など、地域の多様な人材や資源を活かして、地域の教育力向上を図る仕組みづくりを進めていきます。																				
事務事業名	地域における教育活動の推進事業																				
担当課	生涯学習推進課 関係課																				
事業の概要	地域社会でいきいきと活動する市民や、子どもたちの成長を見守り支えている市民の意欲・力を、社会全体の活力や地域の教育力の向上につなげられるよう支援します。 また、「川崎市子どもの権利に関する条例」に基づき、地域における子どもの育ちや意見表明を促進します。																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>H30 (2018)</th> <th>R1 (2019)</th> <th>R2 (2020)</th> <th>R3 (2021)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>各行政区・中学校区地域教育会議の活性化に向けた支援 ・継続実施</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地域教育会議交流会の開催による情報共有等の推進 ・継続実施</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>市子ども会議の開催と各行政区・各中学校区子ども会議との連携 ・継続実施</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地域のスイミングスクール等と連携した、子どもの泳力向上プロジェクトの実施 ・参加者数：2,830人以上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	各行政区・中学校区地域教育会議の活性化に向けた支援 ・継続実施				地域教育会議交流会の開催による情報共有等の推進 ・継続実施				市子ども会議の開催と各行政区・各中学校区子ども会議との連携 ・継続実施				地域のスイミングスクール等と連携した、子どもの泳力向上プロジェクトの実施 ・参加者数：2,830人以上			
H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)																		
各行政区・中学校区地域教育会議の活性化に向けた支援 ・継続実施																					
地域教育会議交流会の開催による情報共有等の推進 ・継続実施																					
市子ども会議の開催と各行政区・各中学校区子ども会議との連携 ・継続実施																					
地域のスイミングスクール等と連携した、子どもの泳力向上プロジェクトの実施 ・参加者数：2,830人以上																					
事業計画																					
実施状況																					
<p>①地域教育会議においては、コミュニティ・スクールの拡充と合わせて国が打ち出している「地域学校協働本部」を本市でどう構築していくか、教職員の働き方改革に向けた取組も含めて、今後の地域教育会議のあり方を作業部会や代表者会議、全市交流会などを通して議論してきました。</p> <p>②市子ども会議を開催し、市長への提言を行うとともに、各行政区・中学校区子ども会議の担当者連絡会や、子ども集会などを通じて、連携を図りました。</p> <p>③市内16か所のスイミングスクールと連携し、泳げない子どもを対象とした水泳教室を開催しました。</p>																					
課題と今後の取組																					
<p>①地域教育会議については、引き続き研修会や交流会などを通して、川崎らしい地域教育ネットワークの今後のあり方を検討するとともに、令和2年度からモデル的に数カ所の地域教育会議に国が示す地域学校協働活動推進員を配置し、「地域学校協働本部」として機能させていきます。</p> <p>②引き続き、川崎市子ども会議の推進と、行政区・中学校区子ども会議との連携を進めます。</p> <p>③地域のスイミングスクール等との連携を進めて、泳げない子どもを対象とした教室の実施に取り組んでいきます。</p>																					
事務事業名	地域の寺子屋事業 ★																				
担当課	生涯学習推進課 関係課																				
事業の概要	地域ぐるみで子どもの学習や体験をサポートし、多世代で学ぶ生涯学習の拠点づくりを進めることを目的に、地域が主体となって子どもたちに放課後週1回の学習支援と、土曜日等に月1回の体験活動を行う「地域の寺子屋事業」を推進します。																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>H30 (2018)</th> <th>R1 (2019)</th> <th>R2 (2020)</th> <th>R3 (2021)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域や学校の状況を踏まえた地域の寺子屋事業の推進 ・設置か所数：77か所</td> <td>・地域や学校の状況に応じて柔軟に拡充</td> <td></td> <td>・全小・中学校設置完了</td> </tr> <tr> <td>養成講座等による、地域の寺子屋の運営に関わる人材（寺子屋先生・寺子屋コーディネーター）の確保 ・参加人数：1,000人</td> <td>・参加人数：1,500人</td> <td>・参加人数：2,000人</td> <td>・参加人数：2,500人</td> </tr> <tr> <td>地域の寺子屋フォーラム等の開催による普及・啓発 ・年1回開催継続実施</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	地域や学校の状況を踏まえた地域の寺子屋事業の推進 ・設置か所数：77か所	・地域や学校の状況に応じて柔軟に拡充		・全小・中学校設置完了	養成講座等による、地域の寺子屋の運営に関わる人材（寺子屋先生・寺子屋コーディネーター）の確保 ・参加人数：1,000人	・参加人数：1,500人	・参加人数：2,000人	・参加人数：2,500人	地域の寺子屋フォーラム等の開催による普及・啓発 ・年1回開催継続実施							
H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)																		
地域や学校の状況を踏まえた地域の寺子屋事業の推進 ・設置か所数：77か所	・地域や学校の状況に応じて柔軟に拡充		・全小・中学校設置完了																		
養成講座等による、地域の寺子屋の運営に関わる人材（寺子屋先生・寺子屋コーディネーター）の確保 ・参加人数：1,000人	・参加人数：1,500人	・参加人数：2,000人	・参加人数：2,500人																		
地域の寺子屋フォーラム等の開催による普及・啓発 ・年1回開催継続実施																					
事業計画																					
実施状況																					
<p>①地域や学校の实情に応じて寺子屋を拡充するとともに（平成30年度末47か所⇒令和元年度末55か所）、翌年度の更なる開講に向けて準備を進めました。</p> <p>②寺子屋先生養成講座を8講座（うち1講座は中学生の学習支援を行う人材の養成）開催し、461人の参加がありました。また、寺子屋コーディネーター養成講座を2講座開催し61人の参加がありました。外国につながる子どもの学習支援を行う寺子屋先生の養成講座は1講座開催し、70人の参加がありました。</p> <p>③12月21日に地域の寺子屋推進フォーラムを開催し、寺子屋が開講していない学校の親子も参加できる体験プログラムの実施や、寺子屋同士の情報交換会などを行いました。</p>																					
課題と今後の取組																					
<p>①全小中学校への寺子屋の拡充を目指して、引き続き事業を推進していきます。</p> <p>②寺子屋の拡充に向けて、寺子屋の運営を担う人材や団体の発掘、育成を行っていきます。</p> <p>③寺子屋事業をより多くの方に知ってもらうために、フォーラムの開催など、広報活動に取り組みます。</p>																					